



マシガ準郡保健局との会議

本事業の贈与契約締結を3月5日に控え、当会とマシガ準郡保健局長および地域保健戦略担当の保健官との事業実施に関する事前打ち合わせを行なった。

保健局より、事業対象地域のうち、エカラカラ地区で優先して地域保健ボランティア(CHW)の育成をしたい旨の提案があった。

当会が、エカラカラ地区の行政官である地区長や準地区長への聞き取り調査を行なって、事業形成の可能性について検討することで合意した。

撮影場所: マシガ準郡マシガ地区マシガ準郡保健局長室
 撮影日: 2015年3月4日
 ファイル名: 1503hn009



マシガ準郡エカラカラ地区長との会議

事業対象地域のなかで、エカラカラ地区は、他の地区と比べて国際NGOの支援が少ない地区である、とのマシガ準郡行政局からの指摘を受けて、当会と同地区の行政官との話し合いを行なった。

地区長が、エカラカラ準地区長およびズキニ準地区長を招集して、地域のニーズや事業実施での行政局の協力体制について確認した。

これらをふまえて、同地区で、当会が、地域保健ボランティア(CHW)の育成と、小学校の教室補修の実施をめざした調査・合意形成を行なうことになった。

撮影場所: マシガ準郡エカラカラ地区エカラカラ地区長事務所
 撮影日: 2015年3月12日
 ファイル名: 1503hn095



エカラカラ準地区長との会議

エカラカラ準地区で地域保健ボランティア(CHW)の育成研修を開始することで、関係者と合意した。

このため、当会が調整して、準地区長、エカラカラ保健センターの公衆衛生技官、マシガ準郡の公衆衛生官による準備協議を行なった。公衆衛生官より、同準地区は推定世帯数と人口が多いので、準地区全域を対象とするのではなく、協力しやすい近隣の村々をグループ化する必要がある旨、提案された。早速、村のグループ化作業を行なった。

次に、これら村の村長老やリーダーに集まってもらって、保健研修を実施する。

撮影場所: マシガ準郡エカラカラ地区エカラカラ準地区長事務所
 撮影日: 2015年3月23日
 ファイル名: 1503hn491



土壌保全のための緊急対策校①

エカラカラ教育区で小学校での教室補修の候補校を選定するための調査を実施した。

キアンゲニ小学校では、2棟8教室が一列に並んでいるが、その背面(写真左側)は長年の土壌浸食によって、基礎が露出し脆弱になっている。教室側面の壁に垂直方向に大きな亀裂があるが、脆くなった基礎に由来する可能性があり、早急に基礎保全が必要な事例と思われる。

このため、同校を土壌保全の緊急対策校として、早速、保護者総会での話し合いを開始した。

撮影場所: マシंगा準郡エカラカラ地区キアンゲニ小学校
撮影日: 2015年3月19日
ファイル名: 1503hn380



土壌保全のための緊急対策校②

エカラカラ教育区で小学校での教室補修の候補校を選定するための調査を実施した。

イシュコニ小学校では、9教室(うち7教室を使用)が一列に並んでいるが、その背面(写真右側)は土壌浸食が深刻で、基礎の下の土壌が更に流失している。このため基礎が非常に脆弱な状態になっていると思われる。

このため、同校を土壌保全の緊急対策校として、早速、保護者総会での話し合いを開始した。

撮影場所: マシंगा準郡エカラカラ地区イシュコニ小学校
撮影日: 2015年3月19日
ファイル名: 1503hn436